



総務文教委員会

市の企画部、総務部、財政部、地域振興部、出納室、選挙管理委員会、監査事務局、教育委員会などに関する事項に対応する委員会です。

◎勝山 修 ○佐々木裕子
北本周作、権田直良、末永弘之、竹内靖人
野村昌平、森下寛明、森西順次

今期定例会において付託された議案六件、請願二件、継続審査中の請願一件を審査した。

「平成十八年度一般会計第三次補正」では、給食センター予算に関して、民営・直営の問題や、事業の全体像を報告するようにという意見が出され、平成二十年九月の給食実施を予定していることが答弁された。事業計画の変更による予算増は認められないとの意見も出されたが、採決の結果、賛成多数で、原案可決と決した。

「平成十八年度一般会計第四次補正」では、職員退職手当に関連して、本年度は実質二十名程度の職員減となり、定員管理計画に沿った形になったこと。歳入に関連して、日曜臨時納税相談窓口の説明や、課税・納税担当課が一体となった体制ができたことで、今後も滞納整理に努力していくという答弁があり、

審査の結果、全員一致で、原案可決と決した。

議案第八十二号の消防表彰関連の条例改正、及び議案第八十六号と第八十七号の建部町・瀬戸町などの岡山市との合併に関連した議案は、全員一致で、原案可決と決した。

議案第九十号「旧おかやま社会保険センター津山の取得」については、入札状況が非公開であり、無駄な支出ではないかとの反対意見もあったが、採決の結果、賛成多数で、原案可決と決した。

継続審査中の請願「サラリーマン増税、消費税の引き上げなど、大増税に反対する請願書」、及び今回提出の「たばこ販売組合への助成に関する請願」は、全員一致で、継続審査。「住民の暮らしを守り、公共サービス拡充を求める請願書」は、全員一致で、採択と決した。

決算議案に関する委員長報告

九月定例会市議会で付託された平成十七年度決算議案十件を審査した。

一般会計決算では、特別会計等を含め、約千四百億円の負債の解消に、具体策をもって取り組むこと。青少年健全育成巡回指導委託事業では、未加入であったボランティア保険については当初からの保険料相当額の返還があったが、契約相手方が手続きを欠いた契約であること等から議案の認定はできないので引き続き調査するよう意見が出された。今後の委託契約のあり方に一定のルールをつくるよう強く要請し、採決の結果、賛成多数で、原案認定と決した。

公共用地取得事業特別会計決算、六件の財産区各会計決算、及び二件の奨学金各特別会計決算は、審査の結果、全員一致で原案認定と決した。

◎ 議員はお祭りへの寄付や差し入れも禁止されています。